

2020年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年4月10日

上場会社名 株式会社コックス 上場取引所 東  
 コード番号 9876 URL http://www.cox-online.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)寺脇 栄一  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経・物流本部長 (氏名)細川 武志 (TEL)03(5821)6070 (代)  
 定時株主総会開催予定日 2020年5月19日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2020年5月20日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期の連結業績 (2019年3月1日～2020年2月29日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期	17,130	△10.4	△595	—	△444	—	△897	—
2019年2月期	19,127	△4.6	△1,349	—	△1,121	—	△1,650	—
(注) 包括利益	2020年2月期 △2,024百万円 (—%)		2019年2月期 △2,211百万円 (—%)					

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年2月期	△32.52	—	△10.34	△3.2	△3.5
2019年2月期	△59.82	—	△15.30	△6.6	△7.1
(参考) 持分法投資損益	2020年2月期 一百万円		2019年2月期 一百万円		

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期	12,402	7,658	61.7	277.24
2019年2月期	15,441	9,682	62.6	350.63
(参考) 自己資本	2020年2月期 7,652百万円		2019年2月期 9,671百万円	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年2月期	△1,454	144	0	1,990
2019年2月期	△1,332	△116	△0	3,302

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年2月期	—	—	—	0.00	0.00	—	—	—
2019年2月期	—	—	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00		—	

3. 2021年2月期の連結業績予想 (2020年3月1日～2021年2月28日)

2021年2月期の連結業績予想につきましては、現在、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛や商業施設の営業時間短縮、休業などにより来店客数が減少し、売上に影響しております。現時点では適正かつ合理的な算定が困難であることから、開示しておりません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）: 無  
 新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期	27,711,028 株	2019年2月期	27,711,028 株
② 期末自己株式数	2020年2月期	109,576 株	2019年2月期	126,860 株
③ 期中平均株式数	2020年2月期	27,589,525 株	2019年2月期	27,584,257 株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年2月期の個別業績（2019年3月1日～2020年2月29日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期	17,121	△10.4	△604	—	△445	—	△897	—
2019年2月期	19,116	△4.6	△1,361	—	△1,124	—	△1,652	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期	△32.54	—
2019年2月期	△59.92	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年2月期	12,393		7,836		63.2		283.69	
2019年2月期	15,430		9,789		63.4		354.50	

(参考) 自己資本 2020年2月期 7,830百万円 2019年2月期 9,778百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 今後の見通し .....	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14
4. 個別財務諸表 .....	15
(1) 貸借対照表 .....	15
(2) 損益計算書 .....	17
(3) 株主資本等変動計算書 .....	18

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

(当連結会計年度の経営成績)

当期の連結業績は、売上高171億30百万円(前年同期比89.6%)、営業損失5億95百万円(前年同期は営業損失13億49百万円)、経常損失4億44百万円(前年同期は経常損失11億21百万円)、親会社株主に帰属する当期純損失8億97百万円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失16億50百万円)となりました。

また、国内事業単体業績は、売上高171億21百万円(前年同期比89.6%)、営業損失6億4百万円(前年同期は営業損失13億61百万円)、経常損失4億45百万円(前年同期は経常損失11億24百万円)、当期純損失は8億97百万円(前年同期は当期純損失16億52百万円)となりました。

当期は上半期において、基幹ブランドのikkaが苦戦し、売上計画を大幅に下回りました。下半期は商品計画を修正し、売れ筋商品のQR対応(生産から店頭までのリードタイムを短縮)を行い11月度より回復基調となるものの、既存店客数が回復するまでには至らず年間既存店売上高前年比93.3%となり、売上高は当初計画から乖離しました。

一方、売上総利益率については、AIのソリューションであるAIMDの活用や商品調達手法の見直しによる原価率低減、プロパー販売の取り組み等により前年より3.4ポイント改善しました。また、基幹ブランドのikkaの再成長に向けたリブランディングに着手し、時代の変化に対応した顧客ターゲットを再設定し、今まで以上に支持されるブランドになるべく、コンセプトを刷新致しました。

販管費については、デジタルソリューションの導入による働き方の改革を行いながら、さまざまな固定費の見直しを行い当初計画から更に削減し、前年から11億円の削減となりました。

店舗展開においては、1店舗を新規開店し17店舗を閉鎖した結果、期末現在の店舗数は222店舗となりました。

当社は「ファッション小売業からファッションテック企業への転換」をすべく、ファッションを通じてお客さまを幸せにすることを第一に考え、SPA改革を推進し収益構造を変革するための様々な取り組みを実施しております。この達成にむけ、今期は下記3つの重点施策に取り組み、再成長への転換を図り安定的な収益性の確立を目指しました。

1つめの施策である「バリューチェーンの見直しによる建値消化率の向上」については、市場分析から生産の活動においては、AIを用いたソリューションであるAIMDの定量的に可視化されたトレンド予測をベースに、企画・開発のプロセスを修正し、市場トレンド、顧客ニーズをダイレクトに商品へ反映しました。また、商品開発から生産・調達についての計画生産とQR生産のバランスを見直すことで建値消化率が前年秋冬シーズンと比較して6.4ポイント改善しました。販売・マーケティングの活動については実験店舗において「心装」「品装」「販装」にポイントを置いた活性化投資を行い、ファッションアドバイザーの育成、店舗立地に合わせた商品カテゴリーの拡縮、店舗什器や照明等への投資を行うことで、活性化実施店舗の下半期の既存店売上高は127.4%と好調に推移しました。また、コックスメンバーズクラブ会員の新規獲得及び既存会員の顧客化に向けて取り組み、CMC会員が前年より増えた重点管理店舗については年間売上高前年比が105.1%と好調に推移いたしました。

2つめの施策である「EC事業の推進・拡大による収益構造改革」については、先行予約販売の強化、公式オンライン売上の拡大、新たなブランドの開発を行いました。先行予約販売については、5月からアウターの受注を行いお気に入り登録を増やすことでヒット商品へと成長させることができ、EC売上高前年比は115.8%と伸長しました。公式オンライン売上の拡大に向けた取り組みとしては、機会ロスを削減するため在庫一元化を図りどのサイトでもお客さまが不便なく購入できるように整備し、お客さまとの接点の拡大として積極的にSNS等を活用しました。また、新たな取り組みとしては、EC限定ブランドを立ち上げ、オンラインウルトラファストファッションへのチャレンジを行いました。引き続き更なる売上拡大を図りながら、収益構造を変えるための新たな事業へのチャレンジを行って参ります。

3つめの施策である「支援体制の強化 働き方改革」については、デジタルソリューションの導入により店舗での後方業務の効率化、商品を軸としたコミュニケーションの円滑化を図るためにフリーアドレスの導入を行い、意思決定を迅速化し作業を効率化することで生産性の向上を図りました。

(SDGsに対する取り組み)

当社は、経営理念にある「お客さまのファッションやライフスタイルを彩る、本質的なゆたかさ」を実現するため、2018年10月よりSDGs委員会を立ち上げ、事業活動を通じて「お客さまと共に」社会課題を解決していくための活動を開始致しました。SDGs委員会では「働きがい」「街づくり」「環境保全」の大きな3つの柱で取組を進めて参ります。

当連結会計年度においては、以下の活動を実施しました。

「働きがい」のテーマとしては、デジタルソリューションを導入し、場所や時間を制限させることなく業務を進めるために本社のフリーアドレス化やテレワークの促進を行いました。また、仕事と育児を両立しやすい環境整備に努めるリーダーとしてイクボスを育成し、イオン株式会社主催のダイ満足アワードにてイクボス賞の大賞を受賞することができました。引き続き結果を残しつつ、部下の幸せを考えながら、仕事と私生活を楽しむことができる上司の育成に取り組んで参ります。

「街づくり」については、地域支援として対象商品の販売を通じ、購入金額の一部を各団体へ支援する活動を行いました。主な取り組みとしては「さくら並木プロジェクト」(東日本大震災の津波到達地に桜を植樹し、鎮魂、被害の風化防止、避難目標としての住民保護、景観づくり、経済復興支援等を目指す活動)、「東北コットンプロジェクト」(東日本大震災の津波により稲作が困難になった農地での綿の栽培と紡績、商品化、販売までを一貫して実施する復興支援活動)を行いました。今後は店舗を軸としたさらなる地域支援を拡大しながら、密接にお客さまと関わりを深めていきたいと考えています。

「環境保全」については、森林保護を目的とした「FSC認証下げ札の使用」、リユースやリサイクルを目的とした「古着回収」、羽毛製品回収を促進する「グリーンダウンプロジェクト」、ウミガメの保護、海洋動物、海浜環境保全を目的とした「ブルーオーシャンプロジェクト」を実施しました。今後は二酸化炭素の排出を抑えるための取り組みや資材の削減に向けたデジタル化の促進等に取り組んで参ります。

来期については、新たに「わたしたちができる6つのこと」として取り組みを行い、業績を向上させながら社会貢献につながる取り組みを拡大させ、持続可能な開発目標の達成に向け様々な取り組みを継続して参ります。

## (2) 当期の財政状態の概況

### ①資産・負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ30億39百万円減少し、124億2百万円となりました。増加の主な内容は、現金及び預金が4億58百万円、たな卸資産が2億95百万円増加したこと等によるものであり、減少の主な内容は、関係会社預け金が17億70百万円、投資有価証券が15億20百万円減少したこと等によるものです。

当連結会計年度末の負債は、前連結会計年度末に比べ10億14百万円減少し、47億44百万円となりました。減少の主な内容は、支払手形及び買掛金・電子記録債務が5億10百万円、繰延税金負債が4億63百万円減少したこと等によるものです。

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末に比べ20億24百万円減少し、76億58百万円となりました。減少の主な内容は、利益剰余金が8億97百万円、その他有価証券評価差額金が10億55百万円減少したこと等によるものです。

## ②キャッシュフローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、19億90百万円と期首残高から13億11百万円減少しました。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果減少した資金は、14億54百万円（前期は13億32百万円の減少）となりました。その主な増減の内訳は、税金等調整前当期純損失7億72百万円、仕入債務の減少5億10百万円、たな卸資産の増加額2億95百万円等によるものです。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果増加した資金は、1億44百万円（前期は1億16百万円の減少）となりました。その主な増減の内訳は、差入保証金の回収による収入3億25百万円、有形固定資産の取得による支出69百万円等によるものです。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果増加した資金は、ストックオプションの行使によるものです。

## （3）今後の見通し

2021年2月期については、今期以上に全社一丸となりSPA改革を実現し、収益構造改革に向けて邁進いたします。特に基幹ブランドであるikkaの再成長に向けて経営資源を集中させ、3つの施策「ファッションテックの推進に向けた投資のシフト」「既存事業の収益改善」「EC事業の推進・拡大」に注力して参ります。

「ファッションテックの推進に向けた投資のシフト」については、店舗投資からIT・物流投資に大きくシフトし収益構造を改革して参ります。店舗投資からIT・物流への投資にシフトすることでスピードをもってファッションテックの推進を図り世の中の変化に遅れることなく、対応して参ります。

「既存事業の収益構造改革」については、不採算店舗の閉鎖を加速させ、基幹ブランドのikkaへ経営資源を集中し既存店の活性化を図って参ります。実験店舗にて実施した「心装」「品装」「販装」の取り組みにおいて、全店へ水平展開することで売上高の拡大を図ります。また、基幹ブランドのikkaについては、再成長に向けたリブランディングに着手しております。時代の変化に対応した顧客ターゲットを再設定することで、今まで以上にお客さまから支持され、これからの時代をリードできるブランドになるべくコンセプトを刷新しました。当期は、リプラスをテーマにikkaの15年の歴史を踏まえた、これからの時代あった商品やお客さま対応を行い再成長に向け取り組んで参ります。

「EC事業の推進・拡大」については、公式サイトファーストにて施策に取り組むことで利益の拡大につなげていきます。サイト訪問者数の向上に向けたプロモーションの拡大やSNSの活用及び購入率の向上に向けたサイト訪問者の行動分析や個別のアプローチを行うことで売上・利益の拡大に向けて取り組んで参ります。店舗と公式サイトをシームレスにつなぐことで、お客さまにとってより便利に、より楽しく、おしゃれに関わって頂くサイトへと変革して参ります。

2021年2月期は、今まで以上に利益確保に対して愚直に取り組む、お客さまから支持して頂けるブランド、会社へと再成長させることで、収益構造を変革して参ります。

なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、2020年3月度の来店客数が減少し、既存店売上高前年比は70.7%となりました。4月7日に政府より緊急事態宣言が出され、当社が出店している商業施設の休業も増加しており、先行きは不透明な状況です。来期の業績について、現時点では適正かつ合理的な算定が困難であることから、連結業績予想は未定といたします。今後、予想が可能になった時点で速やかに開示いたします。

## （新型コロナウイルス感染拡大によるリスク情報）

世界的に流行している新型コロナウイルスの影響で、アジア各地からの商品調達において、調達遅延による販売機会の減少や、調達方法の変更によるコスト増加が発生し、収益性悪化の可能性があります。また、日本国内での外出自粛や当社が出店している商業施設の休業、営業時間の短縮等により売上高が減少し、当社の事業及び業績に悪影響が及ぶ可能性があります。

#### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、5期連続して営業損失を計上しており、また、3期連続して営業キャッシュフローがマイナスとなっていることから、現時点において継続企業の前提に関する重要事象等が存在しております。しかしながら、当期末において、資金(現金及び預金と関係会社預け金の合計)残高が19億円あり、当面の間の運転資金及び投資資金が十分に賅える状況であり、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本基準を採用しております。

なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当連結会計年度 (2020年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	482,336	940,478
売掛金	45,890	37,845
売上預け金	500,753	630,772
たな卸資産	1,802,570	2,097,821
未収入金	175,932	160,286
関係会社預け金	2,820,000	1,050,000
その他	135,421	123,709
貸倒引当金	△228	△272
流動資産合計	5,962,676	5,040,642
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,109,048	2,818,124
減価償却累計額	△2,599,041	△2,604,364
建物(純額)	510,007	213,760
工具、器具及び備品	240,741	203,861
減価償却累計額	△215,495	△193,218
工具、器具及び備品(純額)	25,246	10,643
有形固定資産合計	535,253	224,403
無形固定資産		
その他	1	-
無形固定資産合計	1	-
投資その他の資産		
投資有価証券	6,459,509	4,939,381
長期前払費用	42,434	20,137
差入保証金	2,443,080	2,179,054
その他	500	500
貸倒引当金	△2,193	△1,968
投資その他の資産合計	8,943,331	7,137,105
固定資産合計	9,478,586	7,361,508
資産合計	15,441,263	12,402,151



(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当連結会計年度 (2020年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	927,295	378,250
電子記録債務	1,052,751	1,090,799
未払金	252,449	260,393
未払法人税等	214,885	189,172
未払費用	459,251	495,989
賞与引当金	17,291	16,259
店舗閉鎖損失引当金	94,663	36,444
資産除去債務	52,737	22,103
ポイント引当金	8,784	11,360
その他	216,948	211,025
流動負債合計	3,297,058	2,711,797
固定負債		
退職給付に係る負債	436,414	494,523
繰延税金負債	1,318,971	855,966
資産除去債務	706,368	681,732
固定負債合計	2,461,754	2,032,222
負債合計	5,758,813	4,744,019
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,503,148	4,503,148
資本剰余金	5,358,776	5,355,968
利益剰余金	△3,113,899	△4,010,971
自己株式	△54,231	△46,828
株主資本合計	6,693,794	5,801,317
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,065,119	2,010,076
為替換算調整勘定	34,560	30,969
退職給付に係る調整累計額	△121,576	△190,195
その他の包括利益累計額合計	2,978,103	1,850,849
新株予約権	10,551	5,965
純資産合計	9,682,450	7,658,131
負債純資産合計	15,441,263	12,402,151

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
売上高	19,127,545	17,130,242
売上原価	9,263,934	7,715,852
売上総利益	9,863,611	9,414,390
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	8,784	11,360
店舗閉店損失引当金繰入額	94,663	9,083
従業員給料及び賞与	3,289,223	3,113,500
賞与引当金繰入額	17,291	16,259
退職給付費用	69,390	55,097
地代家賃	2,968,338	2,508,213
減価償却費	169,712	76,345
修繕維持費	1,014,180	871,071
その他	3,581,839	3,349,368
販売費及び一般管理費合計	11,213,424	10,010,296
営業損失(△)	△1,349,812	△595,905
営業外収益		
受取利息	2,805	2,659
受取配当金	182,791	140,136
為替差益	2,060	1,947
雑収入	41,223	10,919
営業外収益合計	228,880	155,662
営業外費用		
雑損失	852	4,525
営業外費用合計	852	4,525
経常損失(△)	△1,121,785	△444,768
特別利益		
受取保険金	-	12,238
特別利益合計	-	12,238
特別損失		
投資有価証券評価損	3,900	2,080
減損損失	388,763	332,545
災害による損失	7,750	5,239
特別損失合計	400,413	339,864
税金等調整前当期純損失(△)	△1,522,199	△772,394
法人税、住民税及び事業税	127,966	124,676
法人税等合計	127,966	124,676
当期純損失(△)	△1,650,166	△897,071
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△1,650,166	△897,071

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
当期純損失(△)	△1,650,166	△897,071
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△514,763	△1,055,043
為替換算調整勘定	△8,151	△3,590
退職給付に係る調整額	△38,301	△68,619
その他の包括利益合計	△561,215	△1,127,253
包括利益	△2,211,382	△2,024,325
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△2,211,382	△2,024,325
非支配株主に係る包括利益	-	-

## (3) 連結株主資本等変動計算

前連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,503,148	5,358,776	△1,463,732	△54,176	8,344,016
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△1,650,166		△1,650,166
自己株式の取得				△54	△54
自己株式の処分					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	△1,650,166	△54	△1,650,221
当期末残高	4,503,148	5,358,776	△3,113,899	△54,231	6,693,794

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	3,579,882	42,711	△83,274	3,539,319	10,551	11,893,886
当期変動額						
親会社株主に帰属する当期純損失(△)						△1,650,166
自己株式の取得						△54
自己株式の処分						
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△514,763	△8,151	△38,301	△561,215	-	△561,215
当期変動額合計	△514,763	△8,151	△38,301	△561,215	-	△2,211,436
当期末残高	3,065,119	34,560	△121,576	2,978,103	10,551	9,682,450

当連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,503,148	5,358,776	△3,113,899	△54,231	6,693,794
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△897,071		△897,071
自己株式の取得				△9	△9
自己株式の処分		△2,808		7,412	4,603
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△2,808	△897,071	7,402	△892,477
当期末残高	4,503,148	5,355,968	△4,010,971	△46,828	5,801,317

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	3,065,119	34,560	△121,576	2,978,103	10,551	9,682,450
当期変動額						
親会社株主に帰属する当期純損失(△)						△897,071
自己株式の取得						△9
自己株式の処分					△4,586	17
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,055,043	△3,590	△68,619	△1,127,253		△1,127,253
当期変動額合計	△1,055,043	△3,590	△68,619	△1,127,253	△4,586	△2,024,318
当期末残高	2,010,076	30,969	△190,195	1,850,849	5,965	7,658,131

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純損失(△)	△1,522,199	△772,394
減価償却費	169,712	76,345
減損損失	388,763	332,545
投資有価証券評価損	3,900	2,080
災害による損失	7,750	5,239
賞与引当金の増減額(△は減少)	△18,253	△1,032
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	81,651	△58,219
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△10,666	△10,510
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△201	△181
ポイント引当金の増減額(△は減少)	8,784	2,576
受取利息及び受取配当金	△185,596	△142,796
為替差損益(△は益)	△2,060	△1,947
売上債権の増減額(△は増加)	54,826	△140,458
たな卸資産の増減額(△は増加)	530,264	△295,251
仕入債務の増減額(△は減少)	△996,286	△510,998
その他	98,005	38,221
小計	△1,391,603	△1,476,782
利息及び配当金の受取額	185,514	143,035
法人税等の支払額	△126,782	△121,053
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,332,871	△1,454,800
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△138,513	△69,633
無形固定資産の取得による支出	△7,607	△19,003
差入保証金の差入による支出	△50,103	△22,565
差入保証金の回収による収入	193,051	325,108
その他	△113,246	△69,341
投資活動によるキャッシュ・フロー	△116,418	144,563
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△54	△9
ストックオプションの行使による収入	-	17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△54	7
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,647	△1,628
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,454,992	△1,311,857
現金及び現金同等物の期首残高	4,757,329	3,302,336
現金及び現金同等物の期末残高	3,302,336	1,990,478

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

当社グループは衣料品小売業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

当社グループは衣料品小売業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
1株当たり純資産額	350円63銭	277円24銭
1株当たり当期純損失金額(△)	△59円82銭	△32円52銭

(注) 1 「潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額」については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失を計上しているため記載していません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当連結会計年度 (2020年2月29日)
純資産の部の合計額(千円)	9,682,450	7,658,131
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	10,551	5,965
(うち新株予約権)	(10,551)	(5,965)
普通株式に係る期末純資産額(千円)	9,671,898	7,652,166
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	27,584,168	27,601,452

3 1株当たり当期純利益金額及び1株当たり当期純損失金額並びに潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△1,650,166	△897,071
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△1,650,166	△897,071
普通株式の期中平均株式数(株)	27,584,257	27,589,525
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	潜在株式の種類 新株予約権 潜在株式の数 普通株式 40,344株	潜在株式の種類 新株予約権 潜在株式の数 普通株式 23,000株

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。



## 4. 個別財務諸表

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当事業年度 (2020年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	370,806	811,326
売掛金	35,580	37,407
売上預け金	498,387	628,474
商品	1,792,525	2,088,379
貯蔵品	10,045	9,442
前払費用	84,465	77,903
未収入金	173,995	158,389
関係会社預け金	2,820,000	1,050,000
その他	55,720	50,752
貸倒引当金	△228	△272
流動資産合計	5,841,298	4,911,803
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,092,466	2,802,015
減価償却累計額	△2,582,459	△2,588,255
建物(純額)	510,007	213,760
工具、器具及び備品	239,576	202,672
減価償却累計額	△214,883	△192,559
工具、器具及び備品(純額)	24,693	10,113
有形固定資産合計	534,700	223,873
無形固定資産		
その他	1	-
無形固定資産合計	1	-
投資その他の資産		
投資有価証券	6,459,509	4,939,381
関係会社出資金	175,041	175,041
長期前払費用	42,434	20,137
差入保証金	2,437,497	2,173,630
その他	500	500
貸倒引当金	△2,193	△1,967
投資損失引当金	△58,529	△49,326
投資その他の資産合計	9,054,261	7,257,396
固定資産合計	9,588,963	7,481,270
資産合計	15,430,261	12,393,074

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当事業年度 (2020年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	7,556	15,340
買掛金	919,739	362,910
電子記録債務	1,052,751	1,090,799
未払金	256,651	263,564
未払法人税等	214,885	189,172
未払費用	458,945	495,723
賞与引当金	17,291	16,259
店舗閉鎖損失引当金	94,663	36,444
ポイント引当金	8,784	11,360
資産除去債務	52,737	22,103
その他	216,948	211,025
流動負債合計	3,300,955	2,714,701
固定負債		
退職給付引当金	314,838	304,328
繰延税金負債	1,318,971	855,966
資産除去債務	706,368	681,732
固定負債合計	2,340,178	1,842,027
負債合計	5,641,133	4,556,728
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,503,148	4,503,148
資本剰余金		
資本準備金	2,251,574	2,251,574
その他資本剰余金	3,107,202	3,104,394
資本剰余金合計	5,358,776	5,355,968
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△3,094,237	△3,991,983
利益剰余金合計	△3,094,237	△3,991,983
自己株式	△54,231	△46,828
株主資本合計	6,713,456	5,820,304
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,065,119	2,010,076
評価・換算差額等合計	3,065,119	2,010,076
新株予約権	10,551	5,965
純資産合計	9,789,127	7,836,345
負債純資産合計	15,430,261	12,393,074

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当事業年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
売上高	19,116,924	17,121,030
売上原価		
商品期首たな卸高	2,323,657	1,792,525
当期商品仕入高	8,740,625	8,018,793
合計	11,064,283	9,811,319
他勘定振替高	7,823	7,087
商品期末たな卸高	1,792,525	2,088,379
売上原価合計	9,263,934	7,715,852
売上総利益	9,852,989	9,405,178
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	8,784	11,360
店舗閉鎖損失引当金繰入額	94,663	9,083
従業員給料及び賞与	3,278,756	3,103,933
賞与引当金繰入額	17,291	16,259
退職給付費用	69,390	55,097
地代家賃	2,964,623	2,504,632
減価償却費	169,652	85,358
修繕維持費	1,014,180	879,805
その他	3,597,113	3,344,367
販売費及び一般管理費合計	11,214,455	10,009,894
営業損失(△)	△1,361,465	△604,716
営業外収益		
受取利息	2,707	2,534
受取配当金	182,791	140,136
雑収入	52,243	21,127
営業外収益合計	237,742	163,798
営業外費用		
雑損失	852	4,525
営業外費用合計	852	4,525
経常損失(△)	△1,124,575	△445,443
特別利益		
受取保険金	-	12,238
特別利益合計	-	12,238
特別損失		
投資有価証券評価損	3,900	2,080
災害による損失	7,750	5,239
減損損失	388,763	332,545
特別損失合計	400,413	339,864
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△1,524,989	△773,069
法人税、住民税及び事業税	127,966	124,676
法人税等合計	127,966	124,676
当期純損失(△)	△1,652,956	△897,746

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	4,503,148	2,251,574	3,107,202	5,358,776	△1,441,281	△1,441,281
当期変動額						
当期純損失(△)					△1,652,956	△1,652,956
自己株式の取得						
自己株式の処分						
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	-	-	-	-	△1,652,956	△1,652,956
当期末残高	4,503,148	2,251,574	3,107,202	5,358,776	△3,094,237	△3,094,237

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	△54,176	8,366,468	3,579,882	3,579,882	10,551	11,956,902
当期変動額						
当期純損失(△)		△1,652,956				△1,652,956
自己株式の取得	△54	△54				△54
自己株式の処分	-	-				-
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			△514,763	△514,763	-	△514,763
当期変動額合計	△54	△1,653,011	△514,763	△514,763	-	△2,167,774
当期末残高	△54,231	6,713,456	3,065,119	3,065,119	10,551	9,789,127

当事業年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	4,503,148	2,251,574	3,107,202	5,358,776	△3,094,237	△3,094,237
当期変動額						
当期純損失(△)					△897,746	△897,746
自己株式の取得						
自己株式の処分			△2,808	△2,808		
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	-	-	△2,808	△2,808	△897,746	△897,746
当期末残高	4,503,148	2,251,574	3,104,394	5,355,968	△3,991,983	△3,991,983

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	△54,231	6,713,456	3,065,119	3,065,119	10,551	9,789,127
当期変動額						
当期純損失(△)		△897,746				△897,746
自己株式の取得	△9	△9				△9
自己株式の処分	7,412	4,603			△4,586	17
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			△1,055,043	△1,055,043		△1,055,043
当期変動額合計	7,402	△893,151	△1,055,043	△1,055,043	△4,586	△1,952,782
当期末残高	△46,828	5,820,304	2,010,076	2,010,076	5,965	7,836,345